

報告事項イ

鳥取県中部地震における学校等被害状況とその対応について

鳥取県中部地震における学校等被害状況とその対応について、別紙のとおり報告します。

平成28年11月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 鳥取県中部地震における学校等被害状況とその対応について

平成28年11月8日  
教育総務課

## 1 被害状況

### (1) 人的被害

4件（軽傷3件、重傷1件）

- ・岩美町立岩美西小学校（児童1人が打撲）
- ・倉吉市立小鴨小学校（児童1人が軽い怪我）
- ・倉吉市立西中学校（生徒1人が怪我）
- ・境港市立上道小学校（児童が避難途中、転倒→右手親指亀裂骨折 全治6週間）

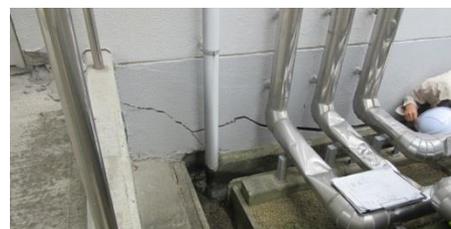


崩落した瓦（倉吉農業高）

### (2) 物的被害

公立学校施設関係：計65件（H28.10.28時点）

- ・小学校31校、中学校17校、県立高等学校8校、県立特別支援学校5校、給食センター4件
- ・壁ひび割れ、窓ガラス破損、天井板落下、備品破損等



校舎に生じたクラック  
（倉吉西高）

文化財関係：計33件（H28.10.31時点）



国重要文化財文殊堂を支える岩に生じた亀裂  
（三徳山三佛寺）



漆喰壁が崩落した倉吉白壁土蔵群



崩落した大神山神社奥宮の参道石垣



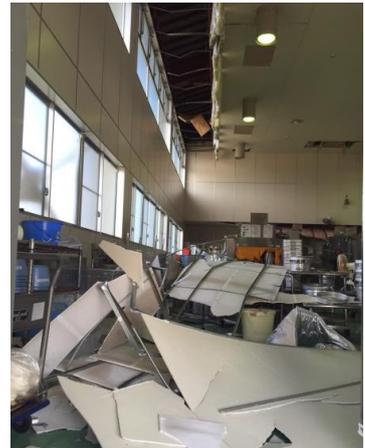
破損した大山寺・銅造観世音菩薩立像

## 2 臨時休校の状況

10月24日 (月)	<ul style="list-style-type: none"><li>・5校が臨時休校（倉吉東高、倉吉西高、倉吉農業高、倉吉総合産業高、倉吉養護学校）</li><li>・鳥取中央育英高は午後の授業を打ち切り</li><li>※ 公立小・中・特別支援学校は通常授業</li></ul>
10月25日 (火)	<ul style="list-style-type: none"><li>・すべての公立学校が通常授業</li></ul>

## 3 学校給食の状況

- ・倉吉市については、給食センターの調理場、洗浄場の外壁や天井板の落下、器具の破損等があり、給食再開まで数か月程度必要となる見込み。このため、10月24日（月）からパンと牛乳に1品つけるなどの簡易給食を実施。11月1日（火）以降は弁当を持参。
- ・三朝町、湯梨浜町、琴浦町については、10月24日（月）から通常どおり実施。北栄町については、10月25日（火）から再開。



天井崩落など大きく損壊  
(倉吉市給食センター)

## 4 これまでの主な取組

- ・10月24日（月）にスクールカウンセラー13名を中部地区の公立学校に派遣。児童生徒等と面談等を行い、心のケアが必要な児童生徒の状況を把握し、心のケアが必要な児童生徒に対するカウンセリングを実施（現在も継続中）。
- ・兵庫県教育委員会の震災・学校支援チーム（EARTH アース）に派遣を要請し、10月24日（月）から28日（金）までの5日間、9名の隊員から児童生徒の心のケア、学校避難所運営、学校給食再開に向けたアドバイス等の支援を受けた。また、同隊員を講師に教職員を対象とした心のケア研修会を開催した（10/27, 10/31, 11/1の3回開催）。

※「震災・学校支援チーム（EARTH）」とは、防災に関する専門的な知識や実践的な対応力を備えた教職員のチーム。平成12年4月以降、北海道有珠山噴火、東日本大震災等、被災地の学校再開の支援等に取り組んでいる。



アースの隊員(左)と熊本県の応援職員

- ・学校施設や倉吉市立給食センターの施設被害に迅速に対応するため、各市町教育委員会に県教育委員会の建築技師等を派遣（延べ14名）するなど、支援を実施。
- ・県教育委員会の文化財主事が県内を巡回し、いち早く文化財の被害状況を確認するとともに、今後の復旧対応等について検討。

## 5 今後について

児童生徒等の 心のケア	<p><b>【児童生徒】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・震災・学校支援チーム（EARTH）から学んだノウハウを活かして、教職員が児童生徒の対応に当たるとともに、中部地区の学校（県立7校、公立38校）にスクールカウンセラーを重点的に派遣し、児童生徒の心のケアに対応。</li></ul> <p><b>【教職員】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・教職員の心身の疲労等について、「心の健康相談員」の派遣や、ストレスチェック制度や相談電話の活用を呼びかけるなど対応。</li></ul>
学校施設・給食 センターの復旧	<ul style="list-style-type: none"><li>・学校施設の早期復旧に向けて、継続的に各市町教育委員会を支援。</li><li>・施設・設備の復旧に要する経費を支援。</li><li>・倉吉市の学校給食再開に向けて、建築技師の派遣など人的支援を継続するとともに、再開するまでの給食対応については、周辺町にも協力を呼びかけ、相談しながら、倉吉市教育委員会を支援。</li></ul>
文化財の復旧	<ul style="list-style-type: none"><li>・文化庁など関係機関と調整しながら、文化財所有者等と今後の修復方法について検討を行い、緊急に保存修理する取組を支援。</li></ul>